



KOMORO MIRAI チャレンジャー

小諸未来義塾を開催 —— 高校生の視点で懐古園周辺を考える

7月24日、小諸高等学校と小諸商業高等学校、小諸市が連携して地域の活性化を考える「小諸未来義塾」を開催しました。

3回目となる小諸未来義塾では、「懐古園」「小諸市動物園」「児童遊園地」の活性化をテーマに高校生の視点で考える機会を設けました。

参加された学生は8グループに分かれ、各グループのファシリテーターを務める長野大学の学生が、高校生に助言をしながら懐古

園周辺の活性化について一緒に意見を出し合いました。

参加された学生の全員が懐古園を知っていて、尚且つ実際に行ったことがある中で、普段とは違った視点で懐古園周辺の現状を捉えました。現状の課題を出し合い、あるべき姿に向けて何が必要なのか、どうすれば今よりも盛り上げることができるのかを皆で考えました。

学生から出された意見には、現状の問題点として「園内の老朽化」「見栄えがしない」「地元の良さを地元の人

が知らない」「イベントが少ない」などが挙げられました。問題点の解決には、「危険箇所を整備し安全に散策できるようにする」「獣舎のペイント」「SNSスポットをつくる」など、また現状の魅力を活かして、「溶岩の石垣に説明看板を設置」「ゆつたりできる空間やウォーキングコースをつくる」などが挙げられました。

魅力発信方法には、「イベントを開催（お化け屋敷、園内音楽イベント、動物とのふれあいなど）」し、SNSでの発信や小諸の特産物で作った食べ物や園内で売るなどが挙げられました。

いただいた様々な提案は、今後の懐古園の活性化に活かしていくこととなります。

